

当院での自然周期での凍結融解胚移植の現況

徐クリニック ART センター

徐 東舜、伊藤 真理、峰 千尋、越智 雪乃、清須 知栄子

(目的) 自然周期での胚移植での内膜調整にも全く薬剤を使わない方法や排卵誘発剤や排卵時に hCG を投与する方法など様々あるが、どの方法が移植の成績に優れているかは不明である。そこで今回我々はレトロスペクティブに様々な自然周期での胚移植の成績を比較検討した。(方法) 2016 年 1 月から 2020 年 12 月までに様々な凍結融解胚移植した 1133 症例に対して分析した。レトロゾールあるいはセキシビットに少量の hMG を加えた排卵誘発を行い LH サージが生じなかった群を A 群 (728 症例)、LH サージが生じた群を B 群 (246 症例)、排卵誘発せずに LH サージが生じた群を C 群 (96 症例)、LH サージがなかった群を D 群 (63 症例) とした。A, D 群は hCG 投与 36 時間後を排卵日とし、B、C 群では LH サージの翌日を排卵日とした。それぞれの妊娠率、着床率、流産率などを比較検討した。サブグループとして Day 5 で 3BB 以上の良好胚 SET での比較検討も行った。

(結果) A、B、C、D 群全体をそれぞれ比較検討した。

年齢、既往移植回数、SET 率は 36.6 ± 4.1 vs 37.5 ± 3.8 vs 37.0 ± 4.1 vs 37.4 ± 3.8 、 2.0 ± 2.4 vs 2.3 ± 2.4 vs 1.6 ± 0.8 vs 1.8 ± 1.8 、 69.4% vs 63.8% vs 47.9% vs 68.3% となった。

妊娠率、着床率では 47.8% vs 37.0% vs 42.7% vs 41.3% 、 37.8% vs 27.7% vs 28.9% vs 31.4% で A 群は B 群よりいずれも有意に高く、流産率は 17.5% vs 19.8% vs 17.1% vs 15.4% となりそれぞれの群に差は認めなかった。

3BB 胚以上での SET でも妊娠率は、 55.1% vs 45.6% vs 63.9% vs 57.6% と A 群は B 群より有意ではないが、高い傾向を示し、C、D 群は B 群より有意ではないが、高い傾向を示した。また流産率はいずれも差は認めなかった。

(結語) 自然周期での凍結胚移植の内膜調節する際に排卵誘発剤を用いた場合は LH サージの無い状態での移植が望ましい